

報告 3 : 李春利 (愛知大学)

都市環境問題の日中比較分析—北京と東京の交通混雑を中心に—

現在、中国の大都市では交通混雑の問題は深刻化しており、大きな社会問題になりつつある。交通渋滞を解消するために、北京を代表とする中国の大都市では自動車の購入制限や走行制限（“限行限购”）など強制的な行政手段によって自動車の需要を抑制しようとしているが、交通渋滞の問題は根本的に緩和されておらず、むしろ地方都市へまん延している。

本報告は、北京と東京の二大都市の総合的な比較分析を行い、中国の都市交通問題の解決に一つの参照軸を提供したいと考える。具体的には、都市交通政策に関するいくつかのキー・コンセプト（外部性と社会的費用、交通手段の選択モデルなど）を提示したうえで、アジア大都市の発展経路の共通性、北京市と東京圏の交通インフラの比較、主要国際都市の交通分担率と自動車保有量の国際比較などを通じて、北京と東京の比較可能性を検討する。さらに、東京の都市交通政策をいくつかの側面（鉄道インフラ、TDM と副都心建設）に分けて分析し、中国の関連政策の諸課題と政策的なインプリケーションを明らかにしていく。

分析の結果：1) 自動車トリップの費用と鉄道インフラの違いは東京の渋滞の程度が北京より低い重要な原因である。2) 北京では都市の毛細血管である一般道路が決定的に不足している。3) 北京の自動車分担率が高い原因の一つは自動車トリップの費用が低いことである。

表 1 北京市と東京圏の交通インフラの比較表

		東京圏	北京市	東京圏/北京市
都市規模	面積 (km ²)	13559	16411	0.8
	人口 (万人)	3583.9	2114.8	1.7
	人口密度 (人/km ²)	2643.2	1288.6	2
	自動車保有量 (万台)	1490.5	518.9	2.9
	一人当たりの自動車保有量 (台)	0.4	0.2	2
道路状況	道路総延長 (km)	116276	21614	5.3
	高速道路延長 (km)	431.7	923	0.5
	車一台当たりの道路延長 (m)	7.8	4.2	1.9
	自動車分担率 (%)	13	33	0.4
鉄道インフラ	地上鉄道総延長 (km)	3473.9	465	5.2
	地下鉄総延長 (km)	301.8	513	0.6
	運営路線数 (本)	132	16	8.3
	駅数 (箇所)	1960	318	6.2
	鉄道分担率 (%)	86	17	5.0

注：1) 東京圏は東京都、埼玉県、千葉県と神奈川県を指す。2) 東京圏は 2014 年、北京市は 2013 年のデータ。

出所：李春利・張鍾允 (2015) 「汽車社会成本中的交通擁堵机理分析与“東京模式”」、清華大学『汽車安全与節能学報』第 6 卷第 2 期、pp.103-118。 http://www.journalase.com:8080/Jweb_qcaqyjn/CN/volumn/home.shtml